

会議録

会議名	令和4年度 第2回 目黒区廃棄物減量等推進審議会家庭系専門部会
日時	令和4年10月14日(月) 午前9時00分～午前10時15分
会場	目黒区総合庁舎1階E会議室
出席委員 (敬称略)	安井、平尾、関戸、坂本、市毛、斎藤、日比野(計7名)
区側職員	橋本環境清掃部長、神清掃リサイクル課長、金元環境保全課長、細野清掃事務所長
傍聴者	なし
配付資料	<p>専門部会委員名簿</p> <p>資料1 2100年を視野に入れた快適で誇りのもてる循環型のまち ～めぐろへの提言～答申 中間のまとめ(案)</p> <p>資料2 目黒区資源とごみに関するアンケート(区民・区内事業所)について</p> <p>資料3 “めぐろ買い物ルール”の追加について</p>
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>8名中、出席者は7名であり、半数以上の出席があるため定足数を満たしており、会は成立する。</p> <p>2 議 事</p> <p>答申中間まとめ(案)について</p> <p>○区 (資料1～3の説明) (指標について)</p> <p>○委員 現行計画では1人1日当たりごみ量とリサイクル率を目標値としていた。これに加え2R<sup>※1</sup>を重視したいと考える。2Rの指標を提示すると良いのではないか。</p> <p>○部会長 2Rの指標というのは設定が難しいかもしれない。</p> <p>※<sup>1</sup>2R:リデュース(Reduce)発生抑制、リユース(Reuse)再使用のこと。</p> <p>(戸別収集について)</p> <p>○委員 高齢化社会では、戸別収集が必要となっていくのではないかと考える。高齢者が集積所までごみを出すのは難しい。そして戸別収集を行うと、誰がどれだけ出したかはっきりし、適正排出の対策が取りやすくなると考える。また、収集時間に出すのが間に合わなかったなどで、他の地区からごみを出しに来る人がいる。戸別収集するのは大変だと思うが、見える化は良いことである。</p> <p>○区 現在集積所は21,000か所ある。戸別収集を行うと、収集員の作業時間の増加や、作業車の増加などコストの問題がある。今後の課題として検討していきたい。</p> <p>○委員 戸別収集に賛成である。戸別収集によりごみは減る傾向がある。外国では家の中にまで収集員が回収に来る。コスト面など課題が多いが、長期的には戸別収集にしたほうが良いと考える。</p> <p>○委員 マンションの中には敷地内に常時ごみを出せる所もあるが、そのマンシ</p>

	<p>ヨンの住民でない人が捨てていくこともある。戸別収集も良いが、小規模の集合住宅に関する問題も重要である。</p> <p>○委員 戸別収集は良いが、家庭ごみ有料化するとなるとどうか。収集した後にごみが出されることもあり、集積所を24時間監視することはできない。コストがかかっても戸別収集を行ったほうがごみは減り、リサイクルも進む。</p> <p>○委員 大規模なマンションは24時間ごみを出すことができ、管理人が収集日にごみ出しを行うため、ごみに対する意識が低くなっている。マンションオーナーに対する教育も必要と考える。</p> <p>○区 新設の集合住宅については区の清掃事務所へ届け出る必要があり、届出のあったオーナーや管理会社には、ごみ出しのルールについて周知や指導を行っている。何か問題があれば区の清掃事務所へ相談してほしい。</p> <p>○副部長 集積所利用のマナー等に関する問題については、区へ相談することを難しく感じている人もいる。</p> <p>(基本方針について)</p> <p>○委員 基本方針の3R<sup>※2</sup>について、2Rが重要であることをもっと明示すべきと考える。リサイクルにはお金がかかること、税金を使って処理をしていることを区民に周知するにはどうしたらよいか。</p> <p>また、容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括回収について書かれているが、回収後にどうなるかが知りたい。ペットボトル以外のプラスチックはペットボトルのようにきれいな状態ではなく、劣化したものもある。そのようなプラスチックがどのようにリサイクルされているのかが疑問である。</p> <p>○区 2Rについては、表現の中でどのように変えられるか検討する。区は容器包装プラスチックについて、日本容器包装リサイクル協会(以下「容リ協」という。)を介して処理している。製品プラスチックも同様の方法で処理していきたいと考えている。</p> <p>回収後のプラスチックがどのように処理されるかは、容リ協で決められている。容リ協のHPで各自治体のプラスチックがどのように処理されているか公表されている。区の今年度の容器包装プラスチックはケミカルリサイクル<sup>※3</sup>で処理されている。どのリサイクル方法で処理されるかは、容リ協での入札で決まるため、目黒区で決めることはできないが、適正にリサイクルされている。</p> <p>リサイクルで何を作るかにより選別の手法は変わってくる。マテリアルリサイクル<sup>※4</sup>は、ケミカルリサイクルと比べると選別は厳密に行われており、経費も高くなる。一方ケミカルリサイクルは、マテリアルリサイクルほどの経費はかからないが、厳密な選別は必要ないとされている。</p> <p>※<sup>2</sup>3R：2R(リデュース・リユース)にリサイクル(Recycle)再生利用を加えた総称</p> <p>※<sup>3</sup>ケミカルリサイクル：廃プラスチックを化学的に分解してプラスチック製品の原</p>
--	---

料として再利用すること。

※<sup>4</sup>マテリアルリサイクル：廃プラスチックをフレークやペレットにしたのち、再びプラスチック製品の原料として再利用すること。

（適正処理の推進について）

- 委員 提言にもあるが、小型充電式電池の処理が難しい。家庭で出るのは1～2個なので、回収場所まで持っていくのが面倒である。回収場所などをもっと丁寧に広報する必要がある。また、電池は日本の資源であることをもっとアピールすべきと考える。
- 委員 区の全ての施設にリサイクルの回収拠点があれば良いのではないかと。
- 副部長 充電式電池の回収は区で行っていない。本来はメーカーや販売事業者が行うものである。消費者に分かりにくいと、区で回収を行ったほうが良いと思うが、区がそこまで行う必要があるか判断が難しい。また、製品プラスチックには電池内蔵のものがあるため回収時には問題となる。
- 委員 電気店を営んでいるが、電池の様々な種別を正確に判別することは難しい。メーカーによって回収できない電池もあり、例えば海外製掃除機の電池は純正でないものが多く出回っており、回収を断られた。
- 副部長 充電式電池については区だけで決められない点も多く、続けて議論していきたい。
- 部長 充電式電池の処理に詳しい人がいれば、意見を聞いてみるのもいい。

（事業者の取組について）

- 委員 事業系ごみは家庭ごみ以上に厳しい対策を講じる必要があると書かれているが、事業系ごみは大きな問題と考える。他区の商店街ではリユース容器で料理を持ち帰る取組が始まっているようだ。区でもマイ容器利用キャンペーンを行っているが、容器の持込はあまり定着していない。事業者側でリユース容器を用意する取組を考えることも必要である。

（基本理念について）

- 委員 基本理念について、区民と事業者の連携がイメージしにくい。例えば若い世代の単身者への啓発なら、学校やアルバイトに通っている人が多いので、学校やアルバイト先の事業者がしっかりとごみ処理を行うことで、単身者自身の生活に波及してごみ処理の意識も良い方へ変えられると思う。

（ごみの有料化について）

- 副部長 ごみの有料化についてご意見をお願いしたい。
- 委員 多摩市などは2人以上の家庭が多く、有料化の効果が高いと考える。ただ区の場合は単身者が多いので地域性に差はある。
- 委員 ごみ処理にお金を使っていることを表すことが必要ではないか。例えば下水道料金のように出した分だけ徴収するという方法はどうか。
- 副部長 特別区以外では全国的に有料化が当たり前である。多くの自治体では袋を有料化している。
- 委員 1枚目の袋は無料で、2枚目から有料という方法も考えられる。

	<p>○委員 有料化に効果があることは分かるが、消費者負担が増える。本来は製造者の責任と考える。プラスチックの増加も製造者負担が軽いことに起因しているのではないか。</p> <p>○副部長 容器包装プラスチックについては、回収・運搬・選別までの経費は区が負担し、リサイクルにかかる経費は製造事業者が主に負担している。</p> <p>○委員 プラスチックのリサイクルはうまくいっているのか。</p> <p>○委員 以前は、発電などの熱源になるため、プラスチックは燃やすごみとして出して良いと言われていた。</p> <p>○委員 自治体によって分別の違いがあるので難しい。全ての自治体で同じ分別にする必要があると考える。</p> <p>○副部長 有料化については特別区全体の問題であり、目黒区だけで決めることはできない。収集は区、焼却処分は東京二十三区清掃一部事務組合、埋立処分は都の事業である。容器包装プラスチックの分別回収は、自治体の努力義務となっている。特別区では、家庭ごみ有料化について議論されているのか。</p> <p>○区 特別区のリサイクル主管課長で組織している検討部会では、家庭ごみ有料化は議題になっていない。仮に検討部会を立ち上げた場合、課長会から部長会、副区長会、区長会へと順に了承を得る手続となる。</p> <p>○副部長 区の方針として、どのように入れていくのが難しい。</p> <p>○委員 難しいことではあっても動くべき時と考える。</p> <p>○副部長 時間はかかるかもしれないが、言い続けていくことが必要である。</p> <p>○委員 有料化の検討も大事だが、ごみを燃やさないという考え方も引き続き検討してほしい。</p> <p>3 閉 会</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>
--	---